

VIEWGISTA ビュージスタ

防滑性ビニル床シート+ウレタン塗膜防水

より長く快適にご使用いただくために

共用廊下、ベランダ、階段室内床の清掃・メンテナンスについて

メンテナンス方法

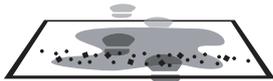
- ①電気掃除機やほうきなどで砂や塵埃などを取り除いてください。
硬く絞ったモップによる水拭きで汚れを除去します。
- ②部分的に汚れが目立つ場合は、洗剤を水で規定の倍率に希釈して、デッキブラシ等でこすり洗いしてください。
洗浄後、洗剤分を残さないようにきれいな水ですすぎ洗いし、きれいなモップで拭きあげ、よく乾燥させてください。
 - * 汚れと洗剤の組み合わせについては、裏面を参照ください。
 - * 洗剤分が残ったり、拭き取りが不十分の場合は、転倒事故や再汚染の原因となります。
 - * ワックスは、紫外線により、変色劣化しますので、使用は避けてください。
- ③ビュージスタシートは、非吸水性の素材です。水たまりができたときは、ほうきやモップで水を掃き出していただくことをお勧めします。



使用上の注意点

汚れ防止マットの設置

水漏れや砂の持込は滑り易くなり、転倒する恐れがあります。マットなどを設置して、雨水や砂の持込を防止してください。
持ち込まれたときは直ちに除去するようにしてください。



水濡れ時の注意

シート表面に水や雪があると、滑りやすくなりますので、歩行に注意してください。



重量物の移動

重量物の無理な移動で、ひきずりますと傷や、剥がれの原因になりますので注意してください。



局部荷重

ハイヒールや傘、家具など局部荷重をうけますと、圧痕(破損)が残る可能性があります。



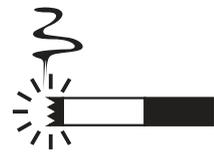
排水溝の清掃

美観維持と排水溝の詰まり防止のため、土砂やゴミ等は定期的に取り除いてください。



タバコの熱による焦げ

タバコの火により焦げ跡が生じますので、投げ捨てや踏み消しをしないようにしてください。



カッターの使用

カッターや尖ったもので床材やウレタン防水部を傷つけたりしないでください。
漏水の原因となります。



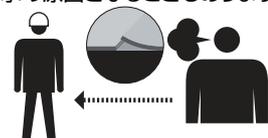
薬品汚染

木材用防腐剤や防蟻剤によって床材が黄色または褐色に変化することがあります。
(裏面の注意事項をご覧ください)



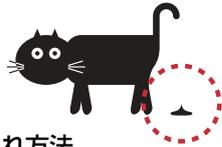
補修は速やかに

床材に剥がれ、反り、ふくれ、割れが生じましたら、専門業者に連絡をして直ちに補修してください。そのまましておきますと転倒などの事故が生じます。
また、漏水の原因となることもあります。



汚れの種類とお手入れ方法

ペットや野鳥の糞尿



お手入れ方法

手で直接触れない様ウエスやキッチンペーパー等で糞尿を除去し、洗剤を使用して、水で洗い流してください。放置しておくとう変色等の問題が発生する場合があります。



中性洗剤

灯油・油性塗料など



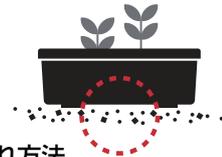
お手入れ方法

ただちにふき取り、洗剤を使用して汚れを除去し、水で洗い流してください。放置しておくとう床がふくれる等の問題が発生する場合があります。



中性洗剤

ガーデニング



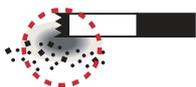
お手入れ方法

園芸用土がこぼれた場合は、ほうき等で土を取り除き、洗剤を使用して汚れを除去し、水で洗い流してください。液体肥料や殺虫剤などが付着した場合は、シミになることがありますので、すぐに拭き取ってください。



中性洗剤

タバコの焦げ



お手入れ方法

灰による汚れは、洗剤を使用して汚れを除去した後、水で洗い流してください。こげ跡が軽度の場合には、サンドペーパーでこすり、仕上げます。



中性洗剤

換気扇油の滴下



お手入れ方法

放置しておくとう除去しにくくなるので、ただちにふき取り、洗剤を使用して汚れを除去し、水で洗い流してください。



油汚れ用洗剤

ガムの付着



お手入れ方法

氷を袋に入れ、ガムをよく冷やして硬くした後、ヘラ等で床を傷付けないように除去します。取りきれなかったガムはドライヤー等で温め、冷めないうちにガムテープを繰り返し押しあて除去します。

生ゴミからの汚水



お手入れ方法

放置しておくとう除去しにくくなるので、ただちにふき取り、洗剤を使用して汚れを除去し、水で洗い流してください。



中性洗剤

ゴムタイヤの跡



お手入れ方法

自転車のゴムタイヤなどの接触によって、ビニル床材の表面に黒色や黄褐色の跡がつく場合があります。保護板を用いてください。

注意事項

- 汚れが付着した場合は、放置せずに直ちに除去してください。
- 汚れ除去にシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 薬品汚染では、ベランダ、バルコニーなどで鉢植えを置いて液体肥料や殺虫剤を使用する場合や、園芸用品なども同様にご注意ください。
- 雨水などとの長期接触により、色・柄によっては白く濁る場合がありますが、乾燥により徐々に回復します。